

令和5年11月29日

6月の報道を受けた技工部関連調査報告および今後の方針について

日頃より本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

11月22日(技術工作部)・24日(全校)に保護者説明会を実施いたしました。説明会の内容につきましては、全校保護者の皆様にウェブにて報告しております。本書面では、以下の通り、全校保護者説明会の概略及び本校の今後の方針につきましてご報告させていただきます。

冒頭で校長よりこの度の一連の出来事、対応に関するお詫びを申し上げた後、会計調査に関するご報告、ハラスメント調査に関するご報告、再発防止策及び現在の対応状況についてご説明いたしました。

会計調査に関するご報告では、調査の目的・趣旨、調査の方法及び調査期間、調査の結果、今後の対応についてご説明し、最後に再発防止策をご報告いたしました。6月に報道がなされた時点で申し上げました通り、技術工作部部員の生徒・保護者の皆様へお支払いの請求をすることなく、帳簿整理が完了しております。帳簿整理後の現金残高は162,120円となり、この資金は活動を再開した新しい技術工作部の活動資金に充当いたします。

ハラスメント調査に関するご報告は、調査委員をお願いした名川岡村法律事務所の弁護士の先生方から調査報告をしていただきました。被害申告のあった9件について、7件はアカデミックハラスメント該当、2件はアカデミックハラスメントには該当しないまでも不適切であるとの結論をご報告いただきました。報告では、学校の対応の不備についてもご指摘いただき、再発防止に関して以下の6つの提言をいただきました。

- ①教職員行動規範、ハラスメント防止に関する基本ポリシーの整備
- ②ハラスメントに関する理解を深める研修の実施
- ③生徒や教職員に対する定期的なアンケート調査の実施
- ④ハラスメント被害等に関する相談窓口及び内部通報窓口の設置・周知等による、生徒が被害を訴えやすい体制の整備
- ⑤学園による部活動の活動内容に対する定期的な監査の実施
- ⑥ハラスメントの相談を受けた場合の対応方法や手順、専門家の協力を得た調査の実施方法、被害生徒の保護・支援等の留意事項に関する規程・体制の整備

再発防止策及び現在の対応状況については、以下の通りです。

内部通報制度の設置・周知、暴言・体罰などに関する全校アンケート策定・実施・集計、教職員等行動規範の策定、教職員研修の実施、今後のクラブ活動の在り方についてプロジェクトチームを設置したことについて、ご報告いたしました。

1. 内部通報制度の設置・周知

9月11日にWEBでお知らせにて周知。現在のところ3件の通報がありました。

2. 暴言・体罰などに関するパワーハラスメントの実態調査についての全校アンケート策定・実施・集計
10月2日に配布し、10月14日締め切りました。回答数352件のうち、本人がなんらかの暴言・体罰を受けたと回答したものが20件、なんらかの暴言・体罰を目撃したと回答したものが33件でした。それぞれの回答内容について、事実確認の聞き取りが必要であると思われる件数は5件と8件でした。事実確認後の総合的な判断：「暴言・体罰」など不適切な指導と判断された件数はそれぞれ4件と7件であり、厳重注意および指導を実施いたしました。尚、そのうち1件については現在も調査継続中です。
3. 教職員等行動規範の策定
以下の行動規範を策定し、これを浸透させることにより、教職員等が適切な行動を取れるよう徹底します。
4. 教職員研修の実施
パワーハラスメント防止を含む人権の研修を従来も実施しておりましたが、さらに徹底して実施して参ります。
5. 今後のクラブ活動の在り方についてプロジェクトチームを設置
クラブ活動の透明性を高めるため、会計処理含め、活動方針を確認・共有します。

学校法人芝学園 教職員等 行動規範

私たちは生徒一人ひとりを大切に、高い専門性と人間力をもって中等教育を実践します。

- ・私たちは「共生」の精神に則り、「思いやり」の心をもって行動します。
- ・私たちは研修と修養に努め、建学の精神を胸に行動します。
- ・私たちは奉職時の初志に常に立ち返り、自灯明・法灯明の精神を体現します。
- ・私たちは学校教育に携わるものとして、関係法令および学園規程を遵守します。

令和5年11月 芝学園

今後の対応につきましては、再発防止策をスピード感を持って真摯に実行することに取り組んで参ります。生徒諸君及び保護者の皆様には、多大なご心配とご迷惑をお掛けしましたことを重ねてお詫び申し上げます。また、本校の教育及びクラブ活動に対する信頼を回復するため、教職員一同が行動規範を実践し、生徒諸君の大いなる成長に努めて参りますので、何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

芝中学校・高等学校
校長 武藤 道郎